愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅱ		
担当者(Instructors)	原 京二	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

メディアは、人々のライフスタイルの変化、デジタルトランスフォーメーション（ＤＸ）の推進や、技術革新、生成AIの登場などにより年々変化を続けています。私たちの日常には様々なメディアからの情報が日々発信され、情報空間には正しい情報からフェイクニュースまで様々な情報が溢れています。この情報空間には、情報の優劣以上に、人々の注目や関心が経済的な価値を持つアテンションエコノミーという概念も広がっています。私たちはメデイアをどのように理解し、情報を受け取り、発信していけばよいのかを、この授業では考え学びます。メディアに対して持っている私たちの常識を疑い、正しいメディアへの認識と、今後の課題を理解できることが、この授業の目的です。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式でグループワークを中心に行います。グループワークとして、グループで取り組む課題の設定、プレゼンテーション準備等があります。そのため、ノート型のPC等のツールを持参することが望ましいです。また、グループワークに必要な知識や情報については講義や映像視聴等で習得するものとします。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	前期の演習の振り返りと後期のオリエンテーション	後期の演習の目的とゴールを共有	□
第2回	グループワーク	グループでインタビューしたい専門家のリサーチ	□
第3回	グループワーク	グループでインタビューしたい専門家のリサーチ	□
第4回	グループワーク	誰に何をインタビューしたいのかをグループで発表	□
第5回	映像で学ぶメディアの課題	映像を視聴してメディアの役割を学ぶ	□
第6回	映像で学ぶメディアの課題	映像を視聴してメディアの役割を学ぶ	□
第7回	ゲスト講師による講演	メディアで働くゲスト講師からからメディアの課題を学ぶ	□
第8回	グループワーク	専門家インタビューの内容を確認し研究の方向性をグループで討議	□
第9回	フィールドワーク	専門家インタビュー	□
第10回	フィールドワーク	専門家インタビュー	□
第11回	グループワーク	インタビューをもとにグループが発表資料の作成	□
第12回	グループワーク	インタビューをもとにグループが発表資料の作成	□
第13回	グループ発表	最終のグループ発表	□
第14回	フィールドワークのフィードバック	インタビューを通して学んだ課題等の確認	□
第15回	まとめ	演習の振り返り	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

＜事前学習＞　メディアの動向を理解するために、事前に、日頃から新聞やテレビ、インターネットなど様々なメディアを活用して、事前に2時間程度は時事ニュースに触れておくこと。また、パネル討論については、事前に指定した課題レポートを持参し参加のこと。 ＜事後学習＞ 定期的に演習のテーマに沿った小レポートを課すことがあるので、演習について各自で2時間程度の復習を行い、身の回りのメディアの意味や構造について常に意識をすること。また、演習内で紹介した文献には演習後も目を通して理解を深めること。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

質問等があればTeamsでのフィードバックのほか、授業時間内での質問、事前にアポイントをとり、オフィスアワー時に研究室での面談も可能です。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2021地域ビジネスDP2	演習テーマの課題についてグループワーク等を通して的確な問いをたてる。そして、問いに対してグループワークでまとめた内容を的確にプレゼンテーションができる。
主体性	◆ 2021地域ビジネスDP3	地域メディアが発信する情報の重要性について理解を深め、自ら正しい情報発信ができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

グループワークにおける積極性、貢献性、意見表明、プレゼンテーション等から総合的に判断します。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じて授業内で紹介します。	
2		
3		
4		
5		